

骨軟部腫瘍

骨・軟部肉腫 カルボプラチン療法

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1
①	DIV	生理食塩液注 50 ml セロトニン受容体拮抗薬 デキサート注 13.2 mg（減量可）	15分 200 ml/時	↓
②	DIV	生理食塩液注 250ml カルボプラチン点滴静注液 300 mg/m ²	60分 流速を算出すること	↓
③	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓

骨・軟部肉腫

カルボプラチン＋エトポシド療法

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1
①	DIV	生理食塩液注 50 ml セロトニン受容体拮抗薬 デキサート注 13.2 mg(減量可)	15分 200 ml/時	↓
②	DIV	生理食塩液注 250ml カルボプラチン点滴静注液 300 mg/m ²	60分 流速を算出すること	↓
③	DIV	5%ブドウ糖液 500 ml エトポシド点滴静注液 100 mg/m ²	60分 500 ml/時	↓
④	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓

骨・軟部肉腫 塩酸ピラルビシン療法

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1
①	DIV	生理食塩液注 50 ml セロトニン受容体拮抗薬 デキサート注 13.2 mg（減量可）	15分 200 ml/時	↓
②	DIV	5%ブドウ糖液注 100 ml テラルビシン注 25-40 mg/m ²	30分 200 ml/時	↓
③	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓

骨・軟部肉腫

塩酸ドキソルビン療法 1

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1
①	DIV	生理食塩液注 50 ml セロトニン受容体拮抗薬 デキサート注 9.9 mg <i>アプレピタントカプセル125mgを併用すること</i>	15分 200 ml/時	↓
②	DIV	生理食塩液注 50 ml ドキソルビン注 70 mg/m ²	15分 200 ml/時	↓
③	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓

※アプレピタント125mgを使用する際はDay2,3にアプレピタント80mgを服用

骨・軟部肉腫

塩酸ドキソルビン療法 2

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1-3
①	DIV	生理食塩液注 50 ml セロトニン受容体拮抗薬 デキサート注 6.6 mg（減量可）	15分 200 ml/時	↓
②	DIV	生理食塩液注 50 ml ドキソルビン注 20-30 mg/m ²	15分 200 ml/時	↓
③	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓

骨・軟部肉腫 パクリタキセル療法(3週毎)

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1
①	PO	レスタミン(10 mg)錠 50 mg		↓
②	DIV	生理食塩液注 50 ml ガスター注 20 mg/2ml デキサート注 19.8 mg	15分 200 ml/時	↓
③	DIV	生理食塩液注 50 ml セロトニン受容体拮抗薬	30分 100 ml/時	↓
④	DIV	生理食塩液注 500 ml パクリタキセル注 175 mg/m ² (減量可)	180分 流速を算出すること	↓
⑤	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓

パクリタキセル注にはフィルター必要

骨・軟部肉腫

カルボプラチン＋エトポシド動注療法

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1
①	IA	生理食塩液注 50 ml セロトニン受容体拮抗薬 デキサート注 13.2 mg(減量可)	15分 200 ml/時	↓
②	IA	生理食塩液注 250ml カルボプラチン点滴静注液 300 mg/m ²	60分 流速を算出すること	↓
③	IA	5%ブドウ糖液 500 ml エトポシド点滴静注液 100 mg/m ²	60分 500 ml/時	↓
④	IA	生理食塩液注 50 ml ヘパリンNa注 1000単位	6分 500 ml/時	↓

骨軟部肉腫 塩酸ゲムシタビン療法

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1	Day 8	Day 15
①	DIV	生理食塩液注 50 ml デキサート注 6.6 mg (削除可)	15分 200 ml/時	↓	↓	↓
②	DIV	5%ブドウ糖液注 250 ml (全量250ml) ゲムシタビン点滴静注用 1000mg/m ²	30分 500 ml/時	↓	↓	↓
③	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓	↓	↓

デスモイド

ビンブラスチン＋メソトレキセート療法

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1
①	DIV	生理食塩液注 50 ml セロトニン受容体拮抗薬（削除可）	15分 200 ml/時	↓
②	DIV	生理食塩液注 50 ml エクザール 6mg/m ²	15分 200 ml/時	↓
③	DIV	生理食塩液注 50 ml メソトレキセート 30 mg/m ²	15分 200 ml/時	↓
④	DIV	生理食塩液注 50 ml （フラッシュ用）	6分 500 ml/時	↓

骨軟部肉腫

塩酸ゲムシタビン(30分投与)＋ドセタキセル療法

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1	Day 8
①	DIV	生理食塩液注 50 ml デキサート注 6.6mg (削除可)	15分 200 ml/時	↓	
②	DIV	生理食塩液注 50 ml デキサート注 6.6mg (削除可) セロトニン受容体拮抗薬(削除可)	15分 200ml/時		↓
③	DIV	5%ブドウ糖液注 250 ml(全量250ml) ゲムシタビン点滴静注用 900mg/m ²	30分 500ml/時	↓	↓
④	DIV	生理食塩液注 250 ml ドセタキセル 70mg/m ²	1時間 250ml/時		↓
⑤	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500ml/時	↓	↓

血管肉腫

パクリタキセル毎週投与療法

	投与 方法	薬剤	投与 時間	Day 1
①	PO	レスタミン(10 mg)錠 50 mg		↓
②	DIV	生理食塩液注 50 ml ガスター注 20 mg/2ml デキサート注 初回8.25 mg(増量可) (2回目以降は6.6mg以下に減量可)	15分 200 ml/時	↓
③	DIV	生理食塩液注 50 ml セロトニン受容体拮抗薬	30分 100 ml/時	↓
④	DIV	生理食塩液注 250 ml パクリタキセル注 100 mg/m ²	60分 流速を算出すること	↓
⑤	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓

週1回投与を6週間連続し、少なくとも2週間休薬する。これを1クールとして、投与を繰り返す。(添付文書参照)

パクリタキセル注にはフィルター必要

文献: Penel N. J Clin Oncol . 2008; 26: 5269-5274
Schlemmer M Eur J Cancer 2008; 44: 2433-2436

インターバル日数 7日

軟部肉腫 エリブリンメシル酸塩療法

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1	Day 8
①	DIV	生理食塩液注 50 ml セロトニン受容体拮抗薬(削除可) デキサート注 6.6mg (削除可)	15分 200 ml/時	↓	↓
②	DIV	生理食塩液注 50 ml ハラヴェン静注液 1.4mg/m ²	6分 500 ml/時	↓	↓
③	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓	↓

文献: Schöffski P et al. Lancet. 2016
doi: 10.1016/S0140-6736(15)01283-0

インターバル日数 21日

骨軟部肉腫：カルボプラチン＋エトポシド療法

	投与方法	薬剤	投与時間	Day 1	Day 2	Day 3
①	DIV	生理食塩液注 50 ml セロトニン受容体拮抗薬 デキサート注 4.95 mg(減量可) アプレピタントカプセル125mg(削除可)	15分 200 ml/時	↓		
②	DIV	生理食塩液注 50 ml セロトニン受容体拮抗薬 デキサート注 3.3 mg ※アプレピタント125mgを使用する際は Day2,3にアプレピタント80mgを服用	15分 200 ml/時		↓	↓
③	DIV	5%ブドウ糖液 500 ml エトポシド点滴静注液 120 mg/m ² (0.4mg/ml以下に希釈)	2時間 250 ml/時	↓	↓	↓
④	DIV	5%ブドウ糖液 250ml カルボプラチン点滴静注液 400 mg/m ²	60分 流速を算出すること	↓		
⑤	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓	↓	↓

胞巣状軟部肉腫 アテゾリズマブ療法

	投与 方法	薬剤	投与 時間	Day 1
①	DIV	生理食塩液注 50 ml	ルート確保用	↓
②	DIV	生理食塩液注 250 ml テセントリク点滴静注 1200 mg/body (小児は15mg/kg, 上限1200mg/body)	初回: 250 ml/時; 60分 2回目以降: 500 ml/時; 30分	↓
③	DIV	生理食塩液注 50 ml	6分 500 ml/時	↓

※0.2又は0.22 μ m のインラインフィルターを使用する。
※小児(2歳以上18歳未満)の患者に使用する場合は最終濃度を3.2～16.8mg/mLとなるように調節する。

文献: Alice P et al., N Engl J Med. 2023 Sep 7;389(10):911–921.
添付文書